

整理番号 203310031

発送番号 3925
発送日 平成14年11月21日

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成11年 特許願 第115101号
起案日	平成14年11月19日
特許庁審査官	平塚 政宏 9041 4G00
特許出願人代理人	石井 和郎 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、一次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

(1) この出願の請求項1-5, 8-11に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

(2) この出願は、明細書及び図面の記載が下記の点で、特許法第36条第4項又は第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

○理由(1)

文献1には、アルミナ、セリア／アルミナ等に担持したPt触媒のBET表面積が160m²/g以上であり、この触媒は水の存在下でCOと水性ガスシフト(WGS)反応が起こる旨示されている(p.1500表3、p.1503右欄、p.1504図8及びp.1505図10)。一酸化炭素変成反応を水素精製に用いることは当該技術分野において周知であって、改質ガス供給部の下流側に変成触媒体を配することは自明である。またその際、具体的な反応条件を特定することは設計的事項であると認められる。

○理由(2)

・請求項6。

発明特定事項である「複合酸化物がZrを含むこと」に関して、発明の詳細な説明に示されているのは、単体では耐熱性が低い酸化セリウムとの複合化のみであり(段落20、表2)、その余の複合酸化物について技術的な裏付けは示され

発送番号 3925
発送日 平成14年11月21日 2/ 2

ていない。

・請求項7。

発明特定事項である「Ptの0.1~0.5重量%に相当する量のPd、RhまたはRuを担持」に関して、発明の詳細な説明には、Ptの0.1~0.5倍量のPd、RhまたはRuを担持することが示されるのみであり（段落21、表4）、技術的な裏付けは示されていない。

引用文献等一覧

1. INDUSTRIAL & ENGINEERING CHEMISTRY RESEARCH, 1997年, 36,
pp. 1498-1506

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IPC第7版 C01B3/48, 3/58
DB名 CA (STN)

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。この拒絶理由通知の内容に関する問合せ先は、以下まで。

特許審査第三部 無機化学(セラミックス) TEL. 03(3581)1101 内線3465